

# 少年センターだより

発行



日野町少年センター

日野町河原1-1

TEL0748-53-1325

<https://syonen.jp>

日野町少年センター



## 日野町でも莫大な被害が！

「振り込め詐欺」という言葉は誰もが聞いたことがあるのではないのでしょうか？子どもや孫になりすまして、高齢者などからお金をだまし取る悪質な犯罪です。毎日といっていいほど新聞やテレビで、その犯罪被害について報道されています。

滋賀県では、この「振り込め詐欺」を含む「特殊詐欺」の被害は、昨年度、なんと被害総額約3億2400万円、被害件数132件でした。もはや他人事、テレビの中の話ではありません。特に高齢者の方が被害にあわれています。家族、地域、みんなで気をつけましょう。



## 青少年が加害者になるかも？

### ～その仕事「闇バイト」かもしれません！～

この犯罪では、さらに恐ろしいことが起こっています。それは知らないあいだに若者が犯罪の加害者になってしまう可能性があることです。仕事やアルバイトを求める中で、SNSや先輩の誘い、友だちからの断れない誘いで、犯罪の一部を担わされることがあります。いわゆる「闇バイト」と呼ばれているものです。テレビや新聞でもこのことはたくさん報道されています。例えば、現金やキャッシュカードを受け取るだけの仕事や、口座から現金を引き出すだけの仕事、アカウントを譲渡するだけの仕事、電話をかけるだけの仕事など、犯罪と直接関係があるとは思えない仕事です。しかし、このような仕事は、大きな犯罪の中での一つの役割を任されていることが多く「安全です」「捕まることはありません」「簡単な仕事で稼げる」などと言って誘われることがあります。

このような犯罪は、組織的に行われることが多く、たくさんの若者に役割を与え、役になりきり演技をして人をだましてお金をとる犯罪です。大きな特徴は、その役を与えられている若者は、自分の行動が犯罪の一部だと気づかないということです。もちろん、どの役割であったとしても犯罪になる可能性があります。



## 誰かに相談！

「高額報酬」や「稼げる」などの甘い言葉に踊らされることなく、また、先輩や友達からの断りにくい誘いをきっぱりと断ることが大切です。知らない間に加害者になってしまわないようにしましょう。ご家族や知り合いの中にも、このようなアルバイトを断れないで困っている人がいるかもしれません。困ったことがあったら、誰かに相談できる関係を作っておくことが大切です。

## 「地域と連携したキャリア教育の推進を」

滋賀県立日野高等学校 校長 神崎 善明

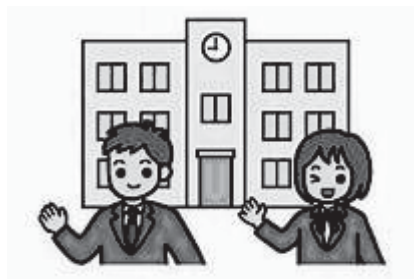
この春、日野高校に校長として着任しました神崎善明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、令和元年と2年にも本校に勤務しておりました。その2年間では地域の皆様が、本校をいかに大切にしているかを強く感じました。なかでも令和元年10月に日野駅舎改築2周年時に本校が「日野高あおぞら文化祭」というイベントを駅周辺で開催した際には、地域の方々が親身になって協力していただいたことは今もよく覚えています。



2年ぶりに勤務させていただく日野高校では「日野チャレ」と題し、地域の防災・地域の高齢者の方との交流、障がい者施設や保育園等での実習等を行うなど、地域の皆様との交流や体験を通じて学びを得る取組が、さらに進んでいました。このような取組をとoshi、本校では目の前の就職先や進学先を決めるというだけでなく、10年後20年後自分はどのように生きていきたいのかを考えられるようなキャリア教育を推進してまいります。

そのためにも本校は地域の皆様と一緒に「日野高校ならではのキャリア教育」の取組を進めていきたいと考えております。また、地域唯一の高校として、地域の皆様に本当によくしていただいているのは変わらない事実ですが、私は一歩進んで、地域の皆様は本校をどのような学校になればよいと思っておられるのかということをお聞きし、一緒に考えていきたいと思っております。

さらに、本校に対して地域の皆様からもいろいろ働きかけをしていただければとも思いますし、本校の行うキャリア教育が生徒とともに地域の皆様にも得るところがある取組になればと考えております。今後とも何かとお世話になりますが、何卒よろしくお願いいたします。



### あらゆる薬物乱用をなくそう 「ダメ。ゼッタイ。」

#### 普及運動

～6月20日から7月19日まで～

覚醒剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用は、あなたの健康やあなたの周りの人々に計り知れない害悪をもたらします。県内でも事件は起こっています。たとえ1回だけでも「乱用」です。絶対に使わないでください。医薬品も間違った使い方は乱用です。

### 青少年の非行・被害防止 滋賀県強調月間

7月1日から31日までの間、「地域ので子どもをまもり、はぐくむ」を重点テーマに、青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間が実施されています。特に「インターネット・SNS利用にかかる子どもの非行・被害防止」「不良行為および初発型非行防止」の対策を推進しています。

## 日野町の未来へ 伝統を引き継ぐ日野中生

先月、わたむきホール虹では「日野中学校第54回合唱コンクール」が開催されました。合唱コンクール実行委員会では「声歌～クラスの絆で輝く個性～」のスローガンのもと、一人一人が主役となりながら、クラスの団結を深める行事となりました。コンクール前日、生徒会長の齊藤博史さんは「『合唱のまち』と呼ばれるこの日野町に伝わる歴史を、未来へと受け継ぐために、全校生徒が誇りと自覚を持ち、ホールいっぱいに歌声を響かせたいと思っています。」と、語ってくれました。54回も続くこの取組は、町民の皆さんのほとんどが経験され、思い出をもっておられるのではないのでしょうか。この素晴らしい取組が伝統となり、日野町に根ざしています。



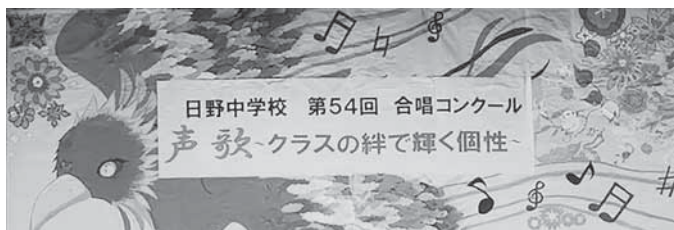
生徒会長 齊藤博史さん

日野中学校では、昭和46年に三つの中学校が一つになったとき、集まった生徒たちが心一つにして、楽しい学校生活を送れるようにという願いから合唱コンクールが始まりました。それ以降は、町内の五つの小学校から集まってくる生徒たちの心を通わせる行事として、ずっと続いています。

ここまで長く続くには、合唱コンクールの目的と、生徒たちの思いがうまく融合されたものだからでしょう。この素晴らしい日野中学校の伝統を受け継ぐ若者がたくさんいることは、日野町の未来も明るいものです。



コンクール前の全校生徒による校歌斉唱



美術部によるスローガンのステージバック絵

### 子育て小窓

登校を渋ったり、宿題をしなかったり……その都度「登校しなさい!」「はやく宿題をしなさい!」「やる気を出しなさい!」と問題を無くそうと叱ることが多いのではないのでしょうか。しかし、それではなかなか改善しないか、さらに悪化するということもあります。そういったときは、大人側の視点を少し変えてみる必要があります。『この子はいったい何に傷つき、困っているのだろう』『友達や先生との関係に困っているのかな』『勉強が分からないのかも』といった視点で子どもの言動を観察したり、子どもに話を聞いたり、学校の先生に学校での様子を聞いてみたり、家庭の中のコミュニケーションを振り返ったりすると何かヒントが見つかるかもしれません。こうして子どもの傷つきや困りが少しわかると、それに応じた関わり方や応援方法が工夫できるのではないのでしょうか。子どもは言葉で上手に困りが言えないことが多いので、大人が少しイメージを膨らませることが大事になりますね。

(子育て・教育相談センター A)



少年補導委員会  
防犯教室

# 知らない人についていかないで!

少年補導委員会では、幼稚園や保育園の子どもたちに、防犯教室を開催しています。小さい時から防犯意識を高めてもらおうと、子どもたちにも理解してもらえそうなペープサート（紙人形を利用した劇）をしたり、知らない人にはついて行かない合言葉「イカのおすし」にリズムと振りをつけて、子どもたちと一緒に踊ったり、楽しく啓発しています。

ペープサート部会長の富田忠夫さんは「子どもたちが楽しくわかりやすく『知らない人にはついていかない』ということを学んでくれたら嬉しいです。本当は子どもたちが心配しなくても良い、安心安全な社会になるのが一番なのですけどね」と話しておられます。



## つぶやき

ACジャパンのテレビCMでこんなシーンがあります。コンビニのレジで支払いにもたついているおばあさんに、後ろに並んでいた強面のお兄さんが「焦らなくていいよ」とやさしい声をかけます。おばあさんは振り向き、その若者に見た目で判断したことを謝ります。最後に「たたくより、たたえ合おう」と締めくくられるこのCMを見ると、毎回胸が熱くなります。

もうすっかり大人になった我が子たちが幼かった頃、私は子どもたちに「自分が言われて嫌なことは人には言ってはいけない。自分がされて嫌なことは人にしてはいけない。」とよく言ってきました。社会生活において、年齢・性別・国籍・障がい・思想信条・仕事・家族構成・生活水準…何もかもが違う人々が、お互いを尊重できることが何よりも大切だと思います。そんな社会なら、いじめも犯罪も戦争もない平和な世の中になるはずです。

少年補導委員の活動を通じて、相手の立場に立って物事を考えること、相手を思いやることを子どもたちに伝えていけたらと思っています。

日野町少年補導委員 瀧井 恭子

## ひとりで悩まないで まずは相談を!

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○来所相談 ○電話相談 ○メール相談

○来所・電話：月～金9:00～16:30 ○日野町勤労福祉会館 2階

電話：0748-53-1325 E-mail:hino@syonen.jp HP:http://syonen.jp/

日野町少年センター

